

通し 番 号	日付	出来事	東北学院大学としての対応	根拠 (*1)	泉キャンパスにおける対応・出来事	部署記入欄
1	3月11日	金	<p>14:46 「東北地方太平洋沖地震」(東日本大震災)発生</p> <p>マグニチュード9.0 仙台市青葉区・泉区:震度6弱 多賀城市:震度5弱</p> <p>☆地震発生時 土樋キャンパス5号館において全学教授会開催中。 学長、副学長を含めた役職者も出席。</p> <p>☆地震発生後数分後 緊急地震速報発報</p> <p>☆緊急避難指示 ＜土樋キャンパス＞ 本館前ロータリーに学生・教職員が集まり点呼確認後、東北大学片平キャンパステニスコートへ移動</p> <p>☆15:15 泉キャンパスに怪我人等がいらないことを確認 (多賀城キャンパスとは連絡取れず)</p> <p>☆15:40 ＜土樋キャンパス＞ 体育館に避難所を開設。学生、教員等を移動させる **専任職員の動き** 1)学生・教職員の避難誘導 2)生協の物資提供折衝 3)7号館屋上煙突倒壊の危険性があり、自主的に市道を封鎖、交通整理実施</p> <p>4)正門前にテント設営 5)体育館の避難者受け入れ準備</p> <p>☆16:00 東北学院災害対策本部を設置(本館会議室) メンバー:理事長、学長以下、課長まで ⇒3月14日(月)以降は3キャンパステレビ会議 ⇒当日から24時間体制が1週間続く ⇒学生、教職員の安否確認 ⇒法人各校の被害状況把握 ⇒救援物資の確保、要請のあった部署に物資配送</p> <p>☆21:00 以下の状況を確認 ＜土樋キャンパス＞ 約400名が体育館に避難 ＜泉キャンパス＞ 約70名(学生・一般市民)が1号館1階ロビーに避難 ＜多賀城キャンパス＞ 約400名が礼拝堂に避難(多賀城市からの要請により、礼拝堂を)</p>	3	地震発生	2011/3/11は年度末の為調整休にて休んでいた為、当日は自宅待機でした。3/25まで休校でしたので3/28に準備室に始めて入室した。
2					建物からの避難・誘導 建物の被害	1号館 2号館 3号館 3318情報科学準備室のプリンターが書庫から落下し、PCのハードディスクは机から落下。その後情報の方が修理に持ち帰る。 ...
	3月12日	土	<p>【出来事】 15:36頃 東京電力福島第一原子力発電所1号機水素爆発</p> <p>【会議】 ・災害対策本部会議開催</p> <p>【決定事項】 ・体育館(避難場所)以外の建物への出入禁止</p> <p>【出来事】 ・泉・多賀城キャンパスの状況確認・後期入試合格発表(小掲示板にて)</p> <p>23:00 土樋キャンパス一部の電気回復</p> <p>【宿泊者数】 土樋:約130名 泉:0名 多賀城:約100名</p>			
	3月13日	日				



2011. 3. 28

3318 情報科学準備室 ①



2011. 8. 28

3318 情報科学準備室②